

## 熊本大学工学部物質生命化学科教員公募要領

募集人員 助教授 1 名

所 属 物質生命化学科 生命分子講座

専門分野 生体高分子（特に環境調和・生体適合性材料，医用高分子材料）

担当科目 生体高分子に関連する科目

応募資格 (1)学位：博士あるいは Ph.D. の学位を有すること

(2)年齢：採用時 満 40 歳以下が望ましい

(3)実績・能力：

- ・ 専門分野に優れた研究業績を有すること
- ・ 教育・研究に対して十分な能力と熱意を有すること
- ・ 新しい分野を切り開いていこうとする意欲が旺盛であること
- ・ 英語による講義、研究・実験指導が可能なこと
- ・ 外国人の場合には、学内の業務の遂行が可能な日本語能力を有すること

採用予定日 採用決定後できるだけ早い時期

提出書類 履歴書（市販のもので可。写真を添付すること）

研究略歴および業績（書式を下記ホームページよりダウンロードし、これを利用すること）

<http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/job/20050419.pdf>

主要論文（5 編まで）の別刷りまたはコピー

教育に対する抱負（A4 用紙に 2000 字程度）

研究に対する抱負（A4 用紙に 1000 字程度）

所見を求めうる方 2 名の氏名、所属、連絡先、E-mail

応募締切 平成 17 年 6 月 30 日（必着）

封筒に「物質生命化学科教員応募書類」と朱書し、簡易書留にて郵送願います。

選考方法 第一次選考 書類審査 平成 17 年 7 月初旬予定

第二次選考 面 接 平成 17 年 7 月初旬予定

書類送付先 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1

熊本大学工学部物質生命化学科 教員選考委員会

問い合わせ先 〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1

熊本大学工学部物質生命化学科 学科長 木田建次

電話 096-342-3667（直通）

e-mail: [kida@kumamoto-u.ac.jp](mailto:kida@kumamoto-u.ac.jp)

<http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/job/>

(青字の例に準じてお書きください。)

提出日：平成 年 月 日

研究等略歴・業績書

氏名： (よみがな)  
生年月日等： 年 月 日 (才)  
現住所：〒 - 市 町 - - アパート 号  
電話：  
Fax：  
E-mail：  
国籍等：国名(県名)

現在の所属等

大学名等： 大学(企業名, 法人名等)  
所属部局名： 学部 学科(部課名, 研究所名等)  
住所： 市 町 - - ビル  
電話：  
Fax：  
E-mail：  
現職名： (教授, 室長等, 現在の職名をお書きください。)

[学歴]

年	月	大学	学部	学科	入学		
年	月	同校	卒業				
年	月	大学	大学院	課程	研究科 専攻	入学	
年	月	同大学院	修了				
年	月	大学	大学院	課程	研究科	専攻	入学
年	月	同大学院	修了				

[学位・称号]

年	月	修士(大学)
年	月	博士(大学)

博士論文の題目をお書きください。

[職歴]

年	月	株式会社	入社
年	月	同	退社
年	月	大学(米国)	研究所・博士研究員
年	月	大学	学部 学科・助手
年	月	大学	学部 学科・助教授
年	月	大学	学部 学科・教授

この間、

年	月	~	年	月	大学(英国)文部省在外研究員
年	月	~	年	月	大学非常勤講師
年	月	~	年	月	大学客員教授

現在に至る

[ 所属学会 ] ( 現在加入されている学会を研究分野と関連深いものから順にお書きください。 )  
学会  
研究会

[ 教育歴 ] ( 担当した科目名をお書きください )  
年 ~ 年 ( 学部 年生 )  
年 ~ 現在 ( 学部 年生 )  
年 ~ 年 ( 大学院博士前期課程 )  
年 ~ 年 ( 大学院博士後期課程 )

[ 研究業績 ]  
( A ) 受賞等 ( 学会賞 , Award , Fellowship 等を明確に区別してください。 )  
学会賞  
年 日本化学会学術賞 ( 部門 )

Award  
年 国際会議において最優秀ポスター賞 ( フランス )

Fellowship

( B ) 論文リスト  
( 2000年以降のものをすべてお書きください。新しいものから順にお書きください。 )

1. Title  
Journal 名, Vol., pp., (Year)  
Authors ( 本人名にはアンダーラインを付してください。 )
- 2.
- 3.

( 1999年以前のものから主要なものを5編選び、お書きください。 )

1. Theoretical study on .....  
J. Chem, Phys., Vol. , pp. - (Year)  
Authors ( 本人名にはアンダーラインを付してください )
- 2.
3.  
( これ以外の論文については、他 編 , のようにお書きください。 )  
他 編

( C ) 著書等  
( 研究著書 , 教科書等の区別を付し , すべてをお書きください。 )

( D ) 特許  
( 特許成立済みのものについて , 特許名 , 発明者 , 特許番号等をお書きください。新しいものから順にお書きください。それ以外のもので発明者であるものについては , 申請済み他 件のように表記してください。 )  
1. Method of .....  
US Patent - (Year)

発明者名（本人名にはアンダーラインを付してください）  
申請済み他 件

（ E ） 総説，解説，資料等

（それぞれを区別し，代表的なものをお書きください。新しいものから順にお書きください。）

総説

1. Theoretical study on .....

雑誌名, Vol. , pp. - (Year)

著者名（本人名にはアンダーラインを付してください）

（ F ） 過去 5 年間ににおける国際会議での講演

（基調，招待，依頼，一般，ポスター発表などを区別して，10 編以内でお書きください。）

招待講演

1. Theoretical study on .....

International Symposium on ..... pp. - , 開催地(Year)

著者名（本人名にはアンダーラインを付してください）

（ G ） 過去 5 年間ににおける国内講演

（基調，招待，依頼，一般，ポスター発表などを区別して，10 編以内でお書きください。）

招待講演

1. 題目

日本化学会, pp. - , 開催地(Year)

著者名（本人名にはアンダーラインを付してください）

（ H ） 過去 3 年間（2002 年度以降）の外部資金の獲得状況

（科研費，その他を区別してお書き下さい。また，代表，分担等の区別を付してお書きください。）

科研費

1. 種目（基盤研究 B 等）・代表 / 分担の別

平成 ~ 年度 総額 千円

題目

その他

1. 奨学寄付金 平成 ~ 年度 千円

（ I ） 過去 3 年間（2002 年度以降）の海外への渡航歴と目的

1. 年 月 ~ 月 渡航先： 市（ 国）

渡航目的：文部科学省在外研究員

渡航費用：

2. 年 月 ~ 月 渡航先： 市（ 国）

渡航目的： 学会出席

渡航費用：

（ J ） 他に学会や社会等における貢献がございましたらお書きください。